

A TOTUET

CKD(Chronic Kidney Disease:慢性腎臓病)とは…

たんぱく尿や腎臓の機能の低下など、腎臓の異常が続いている状態です。 放ったままにしておくと腎臓の働きがさらに低下し、人工透析や腎移植を 受けなければ生きられなくなることもあります。



日本のCKD患者数は約1,330万人(成人の8人に1人)と推計されており、誰もがかかる可能性のある身近で 危険な病気です。

下のチェックリストで確認してみましょう!

あなたはいくつ当てはまりますか? 当てはまる項目が多い人はCKDに なりやすいので注意が必要です!



CKD危險度チェック

口肥満である 口お肉中心の脂っこい食事が好き

口味付けの濃いものが好き □糖尿病である

口水分をあまりとらない 口血圧が高い

ロコレステロール値が高い ロ野菜をあまり食べない

口高齢である 口たばこを吸っている

口家族に腎臓病の人がいる 口睡眠不足や過労ぎみである

腎臓を守るためのポイント

①バランスの良い食事をとる

1日3食、主食・主菜・副菜が揃ったバランスの良い食事を心掛けましょう。

②塩分を控える

しょうゆやソースはなるべく使わないようにする、麺類の汁は残す、みそ汁は具だくさんにするなどして減塩 を心掛けましょう。

③お酒は控えめに

1日の適量の目安(いずれか1つ)

- ・ビール:中瓶1本(500ml) ・清酒:1合弱(160ml) ・ウィスキー・ブランデー:ダブル1杯(60ml)
- ・焼酎:ぐい飲み1杯(70ml) ・ワイン:グラス1.5~2杯(200ml)

※女性は男性よりも少ない量が適当です。65歳以上の高齢者においては、より少量の飲酒が適当です。

4適切な水分摂取をする

水分は、糖分を含まないお茶などで補給しましょう。

⑤適度な運動を定期的に行う

ウォーキングなどで定期的に体を動かしましょう。階段を積極的に利用するのも◎

6禁煙する

喫煙は、CKDだけでなくさまざまな病気のリスクを高めます。

⑦ストレスをため込まない

体を動かしたり十分な睡眠をとるなどしてストレスを減らしましょう。



CKD早期発見のため、定期的に検査を受けましょう =

CKDの初期は自覚症状がほとんどなく、体のむくみや貧血などの症状が現れる頃には、かなり進行している可能性が あります。腎臓は一度悪くなってしまうと、自然に元に戻ることはありません。

定期的に健診や検査を受け、なるべく早く異常に気付くことが大切です。